

1

 ABCDE 次の hakken. の法則を<sup>と</sup>読んで問題を解きなさい。

**変わり方調べ①**
**hakken. の法則** 

 ★学習内容 変わり方調べ①
**例題** 何まいかのおり紙を、お姉さんとひろみさんの2人で分けたら、お姉さんは、5まい、ひろみさんは6まいになりました。次の問いに答えましょう。

- ① お姉さんとひろみさんが
- 
- もらうおり紙の数を、
- 
- 右の表にまとめましょう。

お姉さんの数(まい)	1	2	3	4	5
ひろみさんの数(まい)					

 (お姉さんの数) + (ひろみさんの数) = (全体の数) だから、おり紙の数は全部で、 $5+6=11$  (まい) です。

 (全体の数) - (お姉さんの数) = (ひろみさんの数) の式を使って、  
 表にまとめます。

お姉さんの数(まい)	1	2	3	4	5
ひろみさんの数(まい)	10	9	8	7	6

- ② お姉さんがもらう数を□まい、ひろみさんがもらう数を○まいとして、□と○の関係を式に表しましょう。

①のことばの式に□や○、数をあてはめましょう。

 答 □+○=11 (11-□=○)
**確認問題** 何まいかのおり紙を、お姉さんとひろみさんの2人で分けたら、お姉さんは、5まい、ひろみさんは6まいになりました。次の問いに答えましょう。

- ① お姉さんとひろみさんがもらうおり紙の数を、表にまとめましょう。

お姉さんの数(まい)	1	2	3	4	5
ひろみさんの数(まい)	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>6</b>

 (お姉さんの数)+(ひろみさんの数)=(全体の数)だから、おり紙の数は全部で、 $5+6=11$ (まい)です。

(全体の数)-(お姉さんの数)=(ひろみさんの数)の式を使って、表にまとめます。

- ② お姉さんがもらう数を□まい、ひろみさんがもらう数を○まいとして、□と○の関係を式に表しましょう。

①のことばの式に□や○、数をあてはめます。

□+○=11 [11-□=○]

2 12 まいのカードを、お兄さんとケンさんの2人で分けました。

ABCDE 次の問いに答えましょう。

① お兄さんとケンさんがもらうカードの数を、表にまとめましょう。

お兄さんの数(まい)	1	2	3	4	5	6	7	
ケンさんの数(まい)	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	

(お兄さんの数)+(ケンさんの数)=12(全体の数)だから、

$12 - (\text{お兄さんの数}) = (\text{ケンの数})$ の式を使って、表にまとめます。

② お兄さんがもらう数を□まい、ケンさんがもらう数を○まいとして、□と○の関係を式に表しましょう。

①のことばの式に□や○、数をあてはめます。  $\square + \bigcirc = 12$  [ $12 - \square = \bigcirc$ ]

3

ABCDE 次の hakken. の法則を読んで問題を解きなさい。

## 変わり方調べ②

hakken. の法則 

## ★学習内容 変わり方調べ②

例題 1本が40円のえんぴつを何本か買います。

次の問いに  
答えましょう。

えんぴつの数(本)	1	2	3	4	5	
代金(円)						

① えんぴつの本数とそのときの代金を、表にまとめましょう。

えんぴつを2本、3本、  
…とふやしていくと、  
40円ずつふえていきます。

えんぴつの数(本)	1	2	3	4	5	
代金(円)	40	80	120	160	200	

② えんぴつを□本、代金を○円として、□と○の関係を式に表しましょう。

①の表から、代金(○)は、えんぴつ(□)の40倍になっています。

このことから、□と○の関係を式に表してみましょう。

40×□=○または、○÷□=40 答 40×□=○ [○÷□=40]

確認問題 1本が40円のえんぴつを何本か買います。次の問いに答えましょう。

① えんぴつの本数とそのときの代金を、表にまとめましょう。

えんぴつを 2本、3本、…と	えんぴつの数(本)	1	2	3	4	5	
	代金(円)	<b>40</b>	<b>80</b>	<b>120</b>	<b>160</b>	<b>200</b>	

ふやしていくと、40円ずつふえていきます。

② えんぴつを□本、代金を○円として、□と○の関係を式に表しましょう。

①の表から、代金(○)は、えんぴつ(□)の40倍になっています。

○÷□=40 または、40×○=□ ○÷□=40 [40×□=○]

4 1こが70円のりんごを何こか買います。次の問いに答えましょう。

ABCDE ① りんごの数とそのときの代金を、表にまとめましょう。

りんご数を 2こ、3こ、…と	りんごの数(こ)	1	2	3	4	5	
	代金(円)	<b>70</b>	<b>140</b>	<b>210</b>	<b>280</b>	<b>350</b>	

ふやしていくと、70円ずつふえていきます。

② りんごを□本、代金を○円として、□と○の関係を式に表しましょう。

①の表から、代金(○)は、りんご(□)の70倍になっています。

70×□=○または、○÷□=70 70×□=○ [○÷□=70]

5 まわりの長さが 30cm の長方形があります。次の問いに答えましょう。

BCDE ① たての長さ+横の長さを、表にまとめましょう。

$$\begin{aligned} \text{たての長さ} + \text{横の長さ} \\ &= 30 \div 2 \\ &= 15(\text{cm}) \end{aligned}$$

たての長さ(cm)	1	2	3	4	5
横の長さ(cm)	<b>14</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>11</b>	<b>10</b>

② たての長さを□cm 横の長さを○cm として、□と○の関係を式に表しましょう。

$$\underline{\square + \bigcirc = 15} \quad [\bigcirc = 15 - \square]$$

③ たての長さが 12cm のとき、横の長さはなん cm になりますか。

$$\begin{aligned} 12 + \bigcirc &= 15 & \bigcirc &= 15 - 12 \\ & & &= 3 \end{aligned}$$

3cm

6 たてが 3cm 横が 2cm の長方形をならべていきます。次の問いに答えましょう。

BCDE ① 長方形の数と面積を、  
右の表にまとめましょう。

長方形の数(まい)	1	2	3	4	5
面積(cm <sup>2</sup> )	<b>6</b>	<b>12</b>	<b>18</b>	<b>24</b>	<b>30</b>

長方形 1 まいの面積は、 $3 \times 2 = 6(\text{cm}^2)$ です。

長方形の数を 2 まい、3 まい、…とふやしていくと、面積は  $6\text{cm}^2$  ずつふえていきます。

② 長方形の数を□まい、面積を○cm<sup>2</sup>として、□と○の関係を式に表しましょう。

①の表から、面積(○)は、長方形の数(□)の 6 倍になっています。

このことから、□と○の関係を式に表してみましょう。

$$\underline{\square \times 6 = \bigcirc} \quad [\bigcirc \div 6 = \square]$$

7 **まとめ** 今年、さとしさんは 11 才、お母さんは 36 才になります。

CDE 次の問いに答えましょう。

① さとしさんが 20 才になるとき、お母さんは何才になりますか。

$$\text{(式)} \quad 36 - 11 = 25(\text{才}), \quad 20 + 25 = 45(\text{才})$$

45才

② お母さんが 60 才になるとき、さとしさんは何才になりますか。

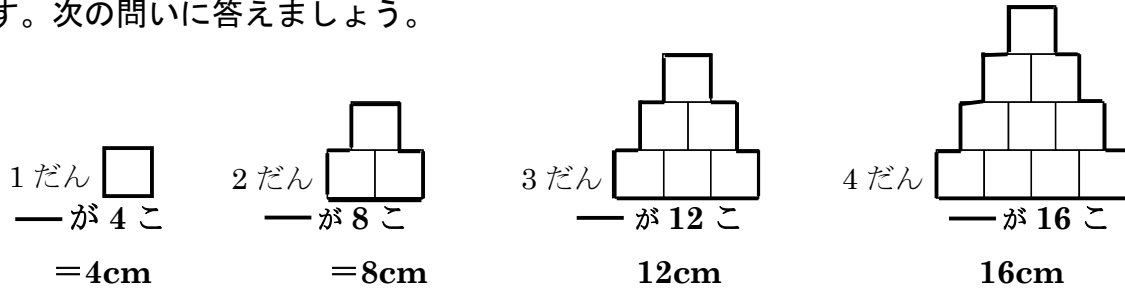
$$\text{(式)} \quad 60 - 25 = 35(\text{才})$$

35才

- 8 **まとめ** 1 分間に 10L の水が流れる水道があります。この水道から、からの水そう  
CDE に水を入れるとき、水を入れた時間を□分、たまった水のかさを○Lとして、□と○  
の関係を表に表しましょう。

$$\underline{10 \times \square = \bigcirc} \quad [\bigcirc \div \square = 10]$$

- 9 **まとめ** 1 辺が 1cm の正方形を下の図のように、1 だん、2 だん、…とならべていき  
DE ます。次の問いに答えましょう。



- ① だんの数を□だん、まわりの長さを○cm として、□と○の関係を式に表し  
ましょう。

「 $4 \times \text{だんの数} = \text{まわりの長さ}$ 」だから、 $4 \times \square = \bigcirc$ 、または  $\bigcirc \div \square = 4$

$$\underline{4 \times \square = \bigcirc} \quad [\bigcirc \div \square = 4]$$

- ② だんの数が 12 だんのとき、まわりの長さは何 cm ですか。

①の式  $4 \times \square = \bigcirc$  に当てはめると、 $4 \times 12 = 48$

48cm

- ③ まわりの長さが 140cm のとき、だんの数は何だんですか。

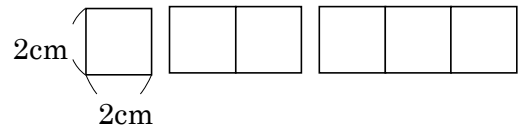
①の式  $4 \times \square = \bigcirc$  に当てはめると、 $4 \times \square = 140$  両辺  $\div 4$

$$4 \div 4 \times \square = 140 \div 4$$

$$\square = 35$$

35 だん

10 **まとめ** 1辺が2cmの正方形の折り紙を、  
E 右の図のように1列にならべていきます。  
次の問いに答えましょう。

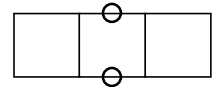


① 正方形の数とまわりの長さを、表にまとめましょう。

正方形の数(まい)	1	2	3	4	5	
まわりの長さ(cm)	<b>8</b>	<b>12</b>	<b>16</b>	<b>20</b>	<b>24</b>	

② 正方形が1まいふえると、まわりの長さは何cmふえるか、答えましょう。

正方形の数を2まい、3まい、…とふやしていくと、  
まわりの長さは右の図の○印の長さだけふえていきます。  
正方形の数が1まいふえると、まわりの長さは4cmふえる。



**4cm**

③ 正方形の数を□こ、まわりの長さを○cmとして、□と○の関係を式に表しましょう。

正方形の数が1このときは、  
まわりの長さは8cm、  
正方形の数が2こ以上のときは、  
まわりの長さは4cmずつ増えるから、  
 $8 + (\square - 1) \times 4 = \bigcirc$ となる。

1	2	3	4	5	
8	12	16	20	24	

$8 + (\square - 1) \times 4 = \bigcirc$   
 $8 + (1 - 1) \times 4 = 8$   
 $8 + (3 - 1) \times 4 = 16$   
 $8 + (5 - 1) \times 4 = 24$

**$8 + (\square - 1) \times 4 = \bigcirc$**

④ 正方形のまわりの長さが52cmのとき、正方形の数は何こですか。

③の式の○の代わりに52を入れて計算すると、

$$8 + (\square - 1) \times 4 = 52 \quad \text{両辺} - 8$$

$$8 - 8 + (\square - 1) \times 4 = 52 - 8$$

$$(\square - 1) \times 4 = 44 \quad \text{両辺} \div 4$$

$$(\square - 1) \times 4 \div 4 = 44 \div 4$$

$$(\square - 1) = 11 \quad \text{両辺} + 1$$

$$\square - 1 + 1 = 11 + 1$$

$$\square = 12$$

**12こ**